

特集

「地震」に備えて、私たちができること

「地震」が起きたら

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震から1年が経過しようとしています。

この地震の規模をしめすマグニチュードは9.0で、上三川町でも震度5強を記録しました。上三川町では幸いにも死傷者は出ませんでした。家屋の瓦が落ちたり、塀が倒れるなどの被害が多数ありました。

今後、同じような大きな地震が起きたときに私たちはどうしたらいいのでしょうか？この機会に地震への備えや、地震時の行動などを再確認しておきましょう。



あなたを守る次の行動

まず落ち着いて身の安全を確保しましょう。

○机やテーブルに身をかくす

- 揺れを感じたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に身をかくしましょう。
- 座ぶとんなどが身近にあれば、頭部を保護しましょう。
- 大地震が起ると家具類が倒れてきたり、電灯、棚やタンスの上の物が落下してくる危険があります。

○非常脱出口の確保

- 揺れを感じたら、玄関などの扉を開けて非常脱出口を確保しましょう。
- マンションなどでは地震で扉がゆがみ、開かなくなることがあります。

○外へ逃げる前に

- 外へ出るときは、まず乳幼児や病人・高齢者など災害要援護者の安全を確保し、瓦やガラスなどの落下物に注意しながら慌てずに行動しましょう。

○すばやく火の始末を

- 使用中のガス器具、ストーブなどは、すばやく火を消しましょう。
- ガス器具は元栓を締め、電気器具は電源プラグを抜きましょう。
- 地震後に避難する場合は、ブレーカーを切って避難しましょう。

○火が出たらまず消火を

- 万一出火したら、まず消火器や三角消火バケツなどの消火用具でボヤのうちに消し止めましょう。

- 大声で隣近所に声をかけ、みんなで協力しあって初期消火に努めましょう。



三角消火バケツ



特集

狭い路地、塀ぎわ、崖や川べりに近寄らない

- ・狭い路地や塀ぎわは、瓦などが落ちてきたり、ブロック塀やコンクリート塀が倒れてきたりするので離れましょう。

- ・崖や川べりは地盤がゆるんで崩れやすくなっている場合があるので、これらの場所から離れましょう。

自動車を運転していたら

- ・道路の左側か空地に停車し、エンジンをとめましょう。

- ・揺れがおさまるまで車外には出ず、カーラジオで災害情報を聞きましよう。

- ・警察官が交通規制を行っているときは、その指示に従いましょう。

- ・避難するときは、キーをつけたままにして、徒歩で避難しましょう。

エレベーターでは

- ・すべての階のボタンを押して近い階に降りましょう。地震時管制運転のエレベーターでは、自動的に最寄りの階に止まるので、停止した階に降りましょう。



事前に準備を

非常持出品・備蓄品の準備を…

- ・災害発生に備えて、最低限必要なもの（下記に記載）を入れた非常持出品を準備して、持ち出しやすいところに置いておきましょう。

- ・飲料水や食料品は1人3日分程度を目安に備蓄しておきましょう。

家具等の転倒、落下防止

- ・身の安全を守るために、家具類は、止め金などで固定しておきましょう。

- ・地震が発生したときは、家具、テレビなどが倒れてきて家の中でも危険な状態となります。



非常持出品・備蓄品を備えましょう

普段から非常持出品・備蓄品を準備し、点検をしておきましょう。家族の人数に合わせて、各家庭で何が必要か話し合ってください。避難時に持ち運べる量・重さなどを工夫し、高齢者や子ども、体の不自由な人がいる家庭では、日ごろから器具（つえ・車いすなど）は、点検・整備しておきましょう。また、赤ちゃんがいる家庭では粉ミルクも準備しておきましょう。

非常持出品(避難するときの最小限の必需品)

○ 飲料水・食料品

飲料水・食料品は、最低3日分は常に準備しておきましょう。食料品は、カンパン・アルファ化米・缶詰などを準備しておきましょう。

○ 懐中電灯・ラジオ・携帯コンロ

乾電池は余分に準備しましょう。また、定期的に乾電池の交換も忘れずに行ってください。燃料は、十分に準備しましょう。ライター・マッチ・ローソクは、非常照明などに役立ちます。（火災などの二次災害の危険がありますので取扱には十分注意しましょう）

○ 筆記用具（油性ペン・紙）

避難先の家族・知人などの連絡用として使えます。

○ 医療品

三角巾・消毒液・体温計・ガーゼ・解熱剤・かぜ薬・胃腸薬など

非常備蓄品の一例



非常備蓄品(災害から復旧するまでの最小限の必需品)

- ・非常食・水(1人1日3リットル)
- ・缶切り・毛布・ビニールシート
- ・卓上コンロ・使い捨てカイロ
- ・新聞紙・応急医療品・軍手
- ・簡易トイレ・ガムテープなど

●避難所の確認を

町では、災害が起きた際の避難所が定められています。

避難所は、一時的に危険を回避する場所です。「避難所はどこなのか」また「自分が避難すべき避難所は」など、実際に大災害が起こったときには、わからないものです。果たして自分たちは、どのようなときに、どこへ避難すればよいのか、考えてみましょう。

●避難勧告の発令基準

- 大雨警報・洪水警報が発令され、鬼怒川・田川などの流域が危険と予想されるとき。

- その他の注意報、又は異状気象により避難の準備勧告を必要とするとき。

- 関係機関から大雨・台風・地震等の災害に関する警報の通知があり、危険区域内住民の避難を必要とするとき。

- 火災発生時において、周辺に拡大するおそれのあるとき。

●町内の避難所

大規模災害時の町の指定避難所は次のとおりです。避難場所までの経路がわからない方は、時間のあるときに確認しておきましょう。

指定避難場所一覧

施設名称	所在地	電話番号	収容地区名	浸水時の利用	震災時の利用
本郷小学校	東蓼沼 251	☎2133	上郷、西蓼沼、東蓼沼	×	○
本郷北小学校	西汗 1585	☎5075	西汗、西木代、磯岡	○	○
上三川小学校	上三川 4549	☎2009	上三川、上蒲生、下蒲生、川中子	○	○
坂上小学校	坂上 628	☎2074	上三川、三村、五分一、坂上、三本木	○	○
北小学校	上蒲生 1725	☎2431	上蒲生、川中子、石田	○	○
明治小学校	大山 524	☎30070	大山、多功、梁、川中子、鞘堂、天神町、ゆうきが丘	○	○
明治南小学校	多功 1412	☎30237	川中子、多功、梁、天神町	○	○
本郷中学校	東汗 520	☎2136	東汗、西蓼沼、西汗、西木代、上文挾	×	○
上三川中学校	上三川 4279	☎2045	上三川、三村、五分一	○	○
明治中学校	大山 25	☎3346	大山、川中子、梁、下神主、上神主、ゆうきが丘	×	○
上三川町役場	しらさぎ 1-1	☎9115	上三川、上蒲生、しらさぎ	○	○
中央公民館	上三川 3970	☎3510	上三川、三村、下蒲生	○	○
体育センター	上三川 4270	☎7328	上三川、坂上、下蒲生	○	○
町立図書館	上三川 5040	☎7825	上三川、上蒲生、上郷	○	○
上三川いきいきプラザ	上蒲生 127-1	☎0211	上三川、上蒲生、しらさぎ	○	○
上三川ふれあいの家ひまわり	上三川 2959	☎6821	上三川、上郷、上蒲生	○	○
農村環境改善センター	上郷 2140	☎4321	上郷、西蓼沼、東蓼沼	○	○

浸水時には、東汗、上文挾地区の方は本郷北小学校に、下神主、上神主地区の方は明治小学校に避難してください。

▼問い合わせ先＝総務課 交通防災係 ☎☎9115